

「下諏訪町地域福祉計画（案）」におけるパブリックコメント結果について

1. 実施期間 令和8年1月6日（火）～令和8年2月6日（金）
2. 実施方法
 - ①住民周知 下諏訪町ホームページ、町広報誌、新聞に掲載
 - ②資料の提供 下諏訪町ホームページに掲載、保健福祉課福祉係窓口で提供
 - ③募集方法 保健福祉課福祉係窓口へ持参、郵送、電子メール、FAX
3. 募集の結果 意見・要望提出者3名、ご意見・ご要望件数17件
4. 意見・要望と町の考え方について
別紙のとおり

	ご意見 / ご要望	町の考え方
I	<p>本計画が「行政だけで地域福祉を担うことは難しい」という現実を前提にしている点は、とても誠実で現実的だと感じました。</p>	<p>ご意見のとおり障がい者、子どもなど地域住民が、住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるよう、住民、ボランティア、行政、福祉事業所が互いに協力・連携し、支え合える社会となるよう、計画の推進に努めてまいります。</p>
	<p>自助・互助・共助・公助を組み合わせ、協働によって支え合うという考え方は、今の社会状況に合った方向性だと思います。</p>	<p>ご意見のとおり自助・互助・共助・公助を組み合わせ、協働による支え合いは今の地域にとって大切であることを周知してまいります。</p>
	<p>特定の立場や人に負担を集中させず、町全体で支え合う姿勢が示されている点は、安心感につながるものだと感じました。</p>	<p>ご意見のとおり町全体で支え合うために、町民一人ひとりが他人事を「我が事」へと意識を変えていくことが安心感につながるものだと考えております。</p>
	<p>計画で示されている地域福祉は、特定の人のためだけのものではなく、子どもから高齢者まで、地域に暮らすすべての人を対象としている点が印象的でした。</p>	<p>ご意見のとおり地域福祉は、地域で暮らす子どもから高齢者までを対象として考えております。</p>
	<p>支援する側と支援される側を固定せず、誰もが状況に応じて立場が変わる可能性があるという考え方は、多くの町民にとって理解しやすいものだと思います。</p>	<p>ご意見のとおり誰もが状況に応じて立場が変わる可能性があるため、町民一人ひとりが他人事を「我が事」へと意識を変えていけるように理解の促進に努めてまいります。</p>
	<p>「地域を担う人づくり」「地域を支えるネットワークづくり」「安心して地域で暮らせる環境づくり」という三つの柱からは、目先の対応だけでなく、長い目で地域を支えていこうとする意図が伝わってきました。</p> <p>特に、人材やつながりを大切にしている点は、地域福祉を続けていくうえで欠かせない視点だと感じます。</p>	<p>今回の計画策定の過程で町民意識調査、町民ワークショップをとおして「人づくり」、「ネットワークづくり」、「環境づくり」が重要であり、ご意見のとおり人材やつながりが特に大切であると考え、取り組んでまいります。</p>

<p>今は特に困りごとのない人にとっては、地域福祉が少し遠い話に感じられる部分もあるように思いました。</p> <p>ただ、事故や病気、家族構成の変化などにより、誰もが突然支援を必要とする立場になる可能性があるので、地域福祉を「将来の自分や家族の安心につながる仕組み」として捉えられるような説明や例があると、より多くの人に関心を持ちやすくなるのではないかと感じました。</p>	<p>ご意見のとおり地域福祉を「将来の自分や家族の安心につながる仕組み」として捉え、より多くの町民の方に「我が事」としてとらえていただけるような表現の工夫を今後の計画策定で検討させていただきます。</p>
<p>1</p> <p>私が理想と感じる地域福祉の姿は、困ったときに自分から必死に支援を探さなくても、自然に誰かや必要な支援につながる状態です。そのために、誰かが感じた小さな「気づき」を判断や責任を背負うことなく安心して伝えられる場所があり、情報が分散せず、必要に応じて支援につながっていく仕組みがあることが大切だと思います。</p>	<p>ご意見のとおりお困りの方の相談を受けた町民の方が判断や責任を背負うことなく安心して伝えられる場所となる相談窓口をしっかりと周知し、情報を分散させず、必要に応じて支援につながる仕組みづくりを推進してまいります。</p>
<p>支援を受ける側だけでなく、支える側の力も無理のない形で生かされる仕組みがあることで、地域全体の負担も分散され、続けやすくなるのではないかと感じました。</p>	<p>ご意見のとおり制度や分野を超えて地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、無理のない形で持続可能な仕組みづくりを研究してまいります。</p>
<p>2</p> <p>P27 基本目標1【地域を担う人づくり】、基本目標2【地域社会を支えるネットワークづくり】等について</p> <p>『公助』が十分に機能するためには、地域住民の『共助』が不可欠であることは自明かと思われる所、町の課題とそれに対する施策の展開は、その通りと私も思います。ただ、これまで機能していた組織が機能不全を起こし始めており(南小PTAの休会)、町内各区分館等自治体組織開催のイベント参加者の減少等を見てますと、町民個々の所属する組織への帰属意識がだんだんと希薄になっているのではと危惧します。自分たちの手で『共助』を守っていかねばならないという意識の啓発を今後も高めていくよ</p>	<p>『共助』には制度化された相互扶助の意味合いがあり、介護保険に代表されるような社会保険制度になり、頂いたご意見は『互助』になるかと思われます。</p> <p>このことを踏まえて、自助・互助・共助・公助は自助をベースにそれぞれの強みで支え合う関係性があり、どれか一つが欠けても地域は成り立ちませんので、町民の皆さま個々の所属する組織への帰属意識が希薄化しないよう『互助』の意識を持てる啓発に努めてまいります。</p>

	う努めてほしいと思います。	
	<p>P31 基本施策 (2) 多様な連携体制の整備①地域ネットワークの構築と充実について</p> <p>取り組み方向性の「内容」に＜高齢者支援の連携＞だけではなく「こども・家庭支援の連携」として「こども家庭センターでのこどもや妊産婦、保護者の話を聞き、子育てや教育などに関する相談や支援に取り組む」ことを追記し、こどもから高齢者まで全世代を対象にした情報共有・支援体制の構築に努めていただきたいと思います。</p>	<p>頂いたご意見を踏まえ、次のとおり追記いたします。</p> <p>＜こども・家庭支援の連携＞</p> <p>こども家庭センターにおいて、母子保健と児童福祉の一体的な支援体制のもと、子育てに不安を抱える方や支援を必要とする方を早期に発見し、必要に応じた支援に繋がります。また、「下諏訪こども人権ネットワーク」において、医療機関や、教育・保育施設等と連携を図ります。</p>
3	<p>P32 基本施策 (1) 情報提供・情報体制の充実①わかりやすい情報提供と情報バリアフリーの推進について</p> <p>町からの情報提要ツールに利用者が増加している LINE office による下諏訪町公式 LINE を開設し、幅広い年代（特に若い世代）に最新情報が伝わるように取り組んではいかがでしょうか。（岡谷市や諏訪市の取り組みを参考に）</p>	<p>頂いたご意見につきましては、担当課と情報共有いたしまして、今後、検討してまいります。</p>
	<p>P34 基本施策 (2) 様々な困りごとを支援する支援体制の充実②様々な困難を抱えた人への支援について</p> <p>近年課題となっている、不登校やひきこもりなどの課題を抱える児童生徒や保護者の支援体制の構築への取り組みを行う旨を記載していただきたいです。諏訪地域の教育委員会やフリースクールなどの民間団体で構成する「諏訪地区学びの支援ネットワーク」との連携を行っていくことで、児童生徒一人ひとりにあった学びの機会の保障・提供に取り組んでください。</p>	<p>P34②様々な困難を抱えた人への支援では、方向性に『多様化したニーズに伴う顕在化した困りごとに対する理解や知識を深めるとともに、必要な情報を届けるための広報・啓発活動を推進します』としており、不登校、ひきこもりなど抱える児童生徒や保護者につきましては、多様化したニーズに伴う顕在化した困りごとを抱えた人に含まれると認識しております。その方々への支援体制の構築への取り組みとしましては、『下諏訪町こども計画』において基本施策2心身の豊かさや将来を描く力を養う教育の推進の中で『スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーといった専門職を配置するなど、児童・生徒及び保護者の学校生活に関する悩みや不安を受け止める体制の充実に努めます』とあり、個別計画において対応をしています。</p>
	<p>P 36 基本施策 (3) 安全・安心な生活の継続①防災・減災対策の推進について</p> <p>「被災者を取り残さない」取り組みとして、個別避難計画の推進とともに、福祉避難所の一層の体制整備や避難訓練</p>	<p>災害弱者への個別避難計画作成におきましては、計画の実行性の確保のために実際に避難場所までの避難訓練を支援者として行っております。避難後の福祉避難所での運営については、地域防災計画において定めるものであることから本計画への記載はしませんが、頂いたご意見を担当課と情報共有いたします。</p>

<p>などを開設場所、開設者と協力して実施し、障がいや高齢、乳幼児などの災害弱者支援の充実に取り組む旨を記載してください。</p>	
<p>P 37 交通災害共済事業についての文章の言い回しが「是非ご加入ください」となっていますが、他の文章と同様に揃えるとよいと思います。例：もしもの時に備え、町民に加入の促進を図ります。</p>	<p>頂いたご意見を踏まえ、次のとおり修正いたします。 「もしもの時」に備え、加入促進を図ります。</p>
<p>P 42 計画の推進体制について 2.計画の推進体制の 4～5 行目の地域福祉活動計画に関する文章を次のように追記してはどうでしょうか。 ⇒…検討されていく「幅広い住民の参画による」地域福祉活動計画における…</p>	<p>地域福祉活動計画は、社会福祉協議会が中心となり、住民、ボランティア、NPO 福祉事業者などが協働して策定する、地域の課題解決と「支え合いのまちづくり」を目指す民間の行動計画となっています。頂いたご意見を踏まえて、用語解説の中で地域福祉活動計画の説明をさせていただきます。</p>
<p>P42 計画の推進体制について 3.計画の管理と評価について、「毎年度、各事業の進捗状況を評価するとともに、指標を設定し地域福祉を推進します」とありますが、今回の計画案には町の目指す姿、「方向性」のみで「内容」には具体的な数値目標、KPI（例：〇〇年までに〇〇している人が〇〇人増加）は記載されていません。実際に計画スタートした際にどのような形で評価していくのでしょうか。今後、計画策定が予定されている地域福祉活動計画で KPI を設定していくのでしょうか。</p>	<p>町では『事務事業評価シート』を活用し、事業の必要性、効果などを見極め、限られた財源を効果的に活用するため担当係ごとで扱っている事業を毎年評価し、点検していることから、本計画の数値目標に利用できるか整理してまいります。</p>